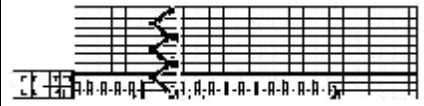


# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都冷蔵枚方センター新築工	階数	地上3F
建設地	大阪府枚方市招提田近三丁目12	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年10月4日
敷地面積	6,605 m <sup>2</sup>	作成者	太平工業株式会社
建築面積	2,868 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	8,093 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 0 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③ 上記+②以外の: #DIV/0!

④ 上記+: #DIV/0!

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
敷地周辺に緑地を設けて環境に配慮した。 また、各種設備機器は環境に配慮された最新型のものを採用した。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより、空間にゆとりをもたせている。	Q3 室外環境(敷地内) 視線を遮らない様な樹木の配置、メッシュフェンスの設置など防犯性に配慮している。
LR1 エネルギー 特になし	LR2 資源・マテリアル フリーアクセスフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0092

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	(仮称)京都冷蔵枚方センター新築工事					
		建設地	大阪府枚方市招提田近三丁目12					
		用途/区分	工場					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>		
	CO2削減					<b>評価対象外</b>		
	省エネ対策					<b>3</b>		
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>		
<b>再生可能エネルギー 利用施設の導入状況</b>		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
<b>エネルギー消費量の報告</b>							<b>報告しない</b>	
<b>【評価項目】</b>								
<b>省エネルギー対策</b>		<b>① CO2削減</b>						
		<b>② 省エネ対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体		<b>3</b>	
					住戸・宿泊			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				<b>3.4</b>		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
<b>みどり ヒートアイランド対策</b>		<b>③ みどり・ヒートアイランド対策</b>						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				<b>1.0</b>	<b>2</b>	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				<b>2.0</b>		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				<b>3.0</b>		
<b>その他</b>								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								